

## 故 小島 蓉子 教授 略歴・著作目録

### 故 小島蓉子教授略歴

- |                   |                                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|-------------------|-------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1933 (昭和8) 年 7 月  | 栃木県足利市に生まれる                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 1956 (昭和31) 年 3 月 | 日本女子大学家政学部社会福祉学科卒業                  | 1993 (平成5) 年 3 月 逝去 (享年59才)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 1956 (昭和31) 年 4 月 | 社会福祉法人日本キリスト教奉仕団主事<br>(昭和41年3月まで)   | 日本社会事業大学、三重大学教育学部、東京教育大学教育学部、山梨大学教育学部など各大学の非常勤講師                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 1960 (昭和35) 年 9 月 | トロント大学社会事業大学大学院留学<br>(昭和36年12月まで)   | 明治学院大学・ホープカレッジ日米経済社会問題共同セミナー講師、国際基督教大学大学院比較文化研究か客員研究員、東京大学教養学部客員研究員、韓国社会政策研究所在外研究員、労働省身体障害者雇用審議会委員、厚生省身体障害者福祉員議会委員、厚生省社会局監修「賞会社の福祉」編集委員。神奈川県総合福祉政策委員会委員、東京都心身障害者対策協議会委員、国立身体障害者リハビリテーションセンター運営委員、日本社会事業学校連盟国際委員会委員長、東京都地域福祉振興基金運営委員会副委員長、東京都老人総合研究所論理委員会委員、社会福祉事業研究開発基金理事、「リハビリテーション研究」編集委員、社会福祉士国家試験委員、「障害者の福祉」編集委員閣議決定により第36回国際連合総会日本代表代理、国際リハビリテーション協会 (本部ニューヨーク) 職業委員会日本代表委員、国際リハビリテーション協会社会委員会日本代表委員、世界リハビリテーション協会 (本部ニューヨーク) 人材・研究交流計画顧問、国際社会事業学校連盟 (本部ウィーン) 理事、国際リハビリテーション協会社会委員長などを歴任 |
| 1962 (昭和37) 年 1 月 | コロンビア大学教育大学院入学                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 1963 (昭和38) 年 6 月 | 同 修了<br>(Master of Artsの学位授与)       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 1966 (昭和41) 年 4 月 | 日本女子大学文学部社会福祉学科専任講師                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 1971 (昭和46) 年 4 月 | 同 助教授                               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 1972 (昭和47) 年 9 月 | ウイスコンシン大学大学院教育学部博士課程入学              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 1974 (昭和49) 年 8 月 | 同 修了<br>(Doctor of Philosophyの学位授与) |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 1975 (昭和50) 年 4 月 | 日本女子大学大学院文学研究科社会福祉学専攻担当             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 1977 (昭和52) 年 4 月 | 日本女子大学文学部社会福祉学科教授                   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 1984 (昭和59) 年 4 月 | 同 学科主任<br>(昭和61年3月まで)               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 1988 (昭和63) 年 4 月 | 日本女子大学大学院文学研究科社会福祉学専攻主任 (平成4年3月まで)  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |

## 故 小島蓉子教授著作目録

1956 (昭和31) 年

▷論文

- \* 「社会保障の谷間に発生した身障労働者の一ケース」(『社会福祉』日本女子大学文学部社会福祉学科3号)

1964 (昭和39) 年

▷論文

- \* 「リハビリテーションにおける評価」(『身体障害者のリハビリテーション評価と訓練の研究』厚生省社会局更生課)
- \* 「リハビリテーションのための職業的カウンセリング」(『身体障害者指導研究紀要』第7集 鉄道弘済会)

▽調査研究報告書

- \* 「奥中山開拓地域における生活ニード調査報告—農村センター(コミュニティセンター)を中心とする地域福祉の一方向」<共著>日本キリスト教奉仕団

1965 (昭和40) 年

▷論文

- \* 「わが国の職業リハビリテーションの展望」(『社会福祉』日本女子大学文学部社会福祉学科12号)
- \* 「Some Approaches to Promote Social Aspects of Rehabilitation」(『Practical Implications of Rehabilitation』Proceedings of the Third Pan-Pacific Rehabilitation Conference)
- \* 「Sheltered Employment in Japan」(『Practical Implication of Rehabilitation』Proceedings of the Third Pan-Pacific Rehabilitation Conference)

\* 「身体障害者リハビリテーションの歴史」(『日本におけるリハビリテーション』日本肢体不自由者リハビリテーション協会)

\* 「保護雇用について」(『手足の不自由な子供達』76号 日本肢体不自由児協会)

\* 「身体障害者に対するボランティア活動」(『リハビリテーション』74号 全国鉄身障者協会)

1966 (昭和41) 年

▷論文

- \* 「社会福祉実習について」(『社会福祉』13号 日本女子大学文学部社会福祉学科)
- \* 「職業更生体系に関する一考察」(『療育』6巻10号 日本肢体不自由児協会)
- \* 「リハビリテーションに見る世界の—横断面」(『リハビリテーション』76号 全国鉄身障者協会)
- \* 「コロニーへの提言」(『手足の不自由な子供達』84号 日本肢体不自由児協会)
- \* 「職業更生カウンセラーの教育」(『看護教育』7巻5号 医学書院)
- \* 「米国のリハビリテーション」(『リハビリテーション』82号 全国鉄身障者協会)
- \* 「職業リハビリテーションに残された問題」(『肢体不自由児事業の現状と課題』66年度版 日本肢体不自由児協会)

1967 (昭和42) 年

▷著書

- \* 「リハビリテーションの定義」「リハビリテーションにおける協力体制と評価の重要性」(『リハビリテーション講座 第1巻 リハビリテーションの基本諸問題』一粒社)
- \* 「職能判定と評価」「職業更生カウンセリング」(『リハビリテーション講座 第2巻 職業的更生』一粒社)

- \* 「職業につけない肢体不自由者」(『肢体不自由児の進路相談室』) 全国社会福祉協議会

▷論文

- \* 「カナダのリハビリテーション」(『リハビリテーション』86号 全国鉄身障害者協会)
- \* 「イギリスのリハビリテーション」(『リハビリテーション』87号 全国鉄身障害者協会)
- \* 「脊損患者の心理的社会問題をめぐって」(『理学療法と作業療法』1巻4号 医学書院)

▷調査研究報告書

- \* 「一企業における精神薄弱者の就労と実態とその考察」<共著> 東京青年会議所

▷翻訳

- \* 『ケースワークの基礎』 誠信書房

1968 (昭和43) 年

▷著書

- \* 「フランス・アメリカ・カナダ・イギリスのリハビリテーション」(『リハビリテーション講座 第5巻 主要国のリハビリテーション』) 一粒社

▷論文

- \* 「家庭の児童の福祉に対する地域活動」(『社会福祉』14号 日本女子大学文学部社会福祉学科)
- \* 「カナダの社会福祉」(『日本女子大学文学部紀要』17号)
- \* 「職業更生相談員について」(『理学療法と作業療法』2巻2号 医学書院)

▷調査研究報告書

- \* 「授産事業の基本問題」<共著> 東京都民生局

▷翻訳

- \* 『家庭福祉』 家政教育者

1969 (昭和44) 年

▷論文

- \* 「諸外国における社会事業教育の基礎理念」(『社会福祉研究』4号 鉄道弘済会)

▷調査研究報告書

- \* 「脳性マヒ者の労働実態」<共著> 日本肢体不自由児協会

▷翻訳

- \* 『シュルタード・ワークショップ・ハンドブック』<単訳> 全国身体障害者授産施設協議会

1970 (昭和45) 年

▷著書

- \* 『身体障害者福祉』 誠信書房

▷論文

- \* 「心身障害児に対するコミュニティ・ケア」(『地域福祉研究』9号 全国社会福祉協議会)
- \* 「海外のホームヘルパー」(『リハビリテーション』87号 全国鉄身障害者協会)
- \* 「日本キリスト教社会事業史にみる山室軍兵の位置と業績」(月刊『キリスト』8号 教文館)

▷調査研究報告書

- \* 「日本キリスト教社会事業史の概説」 内外協力会
- \* 「脳性マヒ児(者)の課題とその対策」<共著> 日本肢体不自由児協会

1971 (昭和46) 年

▷著書

- \* 「心身障害児」(『児童福祉』) 家政教育社
- \* 「The Rehabilitation Situation in Asia and the Pacific Priorities for New Development」(『Effective Vocational Rehabilitation』) Japanese Society for Rehabilitation of the Disabled
- \* 「シュルタード・ワークショップの概念と位置づけ」(『障害者とワークショップ』) ワークショップ研究会

▷論文

- \* 「海外の学生奉仕活動」(『厚生補導』3月号 文部省大学学術局)

▷調査研究報告書

- \* 「福祉工場の抱える問題に関する若干の考察」 東京都
- \* 「神奈川県における脳性マヒ者生活実態調査」 <共著> 横浜市市立大学リハビリテーション研究会
- \* 「障害者のワークショップ」<共著> ワークショップ研究会

1972 (昭和47) 年

▷著書

- \* 「社会福祉の日本的構造」(『現代人の病理』) 誠信書房
- \* 「心身障害者福祉とは何か」(『心身障害者教育講座5 心身障害児教育と福祉』 福村出版)

▷論文

- \* 「太平洋地域主要国の社会福祉のカリキュラムスタディ」(『社会福祉』15号 日本女子大学文学部社会福祉学科)
- \* 「Development of Profesional Education for Vocational Rehabilitation in Japan」(『Development Vocational Rehabilitation Service in the Seventies』 第5回職業リハビリテーション国際セミナー事務局) (オーストラリア)
- \* 「リハビリテーションにおける医療と福祉」(『社会福祉学』13号 日本社会福祉学会)
- \* 「Actualizing Rehabilitation Principles in Legislation and Administration with Regard to the Handicapped in a Vertical Society」(『Proceeding Review』) (オーストラリア)
- \* 「社会福祉方法論の論史」(『賃金と社会保障』615号 労働旬報社)
- \* 「教育・指導機関を出た後の問題」(『精神薄弱

者福祉講座』4集 東京都民生局)

- \* 「国民自らがつくりあげた施策—アメリカの児童福祉を概括する」(『厚生ジャーナル』 Vo 1.3 No.5 厚生ジャーナル社)
- \* 「職業更生従事者にかかわる問題」(『手足の不自由な子どもたち』158号 日本肢体不自由児協会)
- \* 「ソーシャルワークとグループワーク」(『教育と医学』7月号 慶應通信社)

▷調査研究報告書

- \* 「重度身体障害者更生施設における介護調査」 <共著> 厚生省社会局更生課

▷翻訳

- \* 『社会福祉と価値』 誠信書房

1975 (昭和50) 年

▷論文

- \* 「The Evaluation of Rehabilitation Counselor Education Programs Through Students' Perceptions」 (『Wisconsin Rehabilitation Doctoral Dissertation, 1974』 University of Wisconsin) (アメリカ) (博士論文)
- \* 「ソーシャルプランニングの課題—国連社会福祉活動の事例を通じての考察」(『ソーシャルワーク研究』Vol.1 No.3 相川書房)
- \* 「身体障害者職業更生における職業訓練の役割と課題について」(『職業訓練』17巻9号 労働省職業訓練局職業訓練政策課)
- \* 「医療ソーシャルワーカー教育の現状と将来の課題」(『医学教育』6巻6号 日本医学教育学会)
- \* 「海外の障害者福祉対策の動向 (一) アメリカ」(『手足の不自由な子どもたち』188号 日本肢体不自由児協会)
- \* 「海外の障害者福祉対策の動向 (二) ソ連」(『手足の不自由な子どもたち』189号 日本肢体

不自由児協会)

▷調査研究報告書

- \* 「アメリカ合衆国の職業リハビリテーション従事者の雇用対策」(『諸外国における身体障害者の雇用対策の研究』 労働省)

1976 (昭和51) 年

▷論文

- \* 「欧米における障害者福祉の動向－低成長期の社会福祉施策の苦悶と克服の方向性 欧米編」(『総合リハビリテーション』4巻2号 医学書院)
- \* 「Social Work Response to Social Realities - the Historical Development and Realities of Schools of Social Work in Japan -」(『社会福祉』19号 日本女子大学文学部社会福祉学科)
- \* 「米国社会福祉専門教育におけるスーパービジョンの史的展開と今日の課題」(『日本女子大学文学部紀要』25号)
- \* 「職業リハビリテーションの概念と体系」(『理学療法と作業療法』10巻10号 医学書院)
- \* 「職業リハビリテーションの定義と対象」(『総合リハビリテーション』4巻2号 医学書院)
- \* 「海外の障害者福祉対策の動向」(『聴覚障害』31巻2号 ろう教育学会)
- \* 「心身障害児のためのコミュニティ・ケア」(『子どもと家庭』72号 日本児童問題調査会)
- \* 「社会福祉教育の再検討に向けて－世界のどの国からも遠い日本－」(『厚生福祉』51年4月14日号 時事通信社)
- \* 「Discrimination of the Disabled and Seeking a Way Out」(『The Japan Christian Quarterly』Vol.XLII No.3 教文館)
- \* 「医療ソーシャルワーカー教育の実践者テルマ・L・ドロー教授の社会福祉論」(『ソーシャルワーク研究』2巻2号 相川書房)

- \* 「アメリカ合衆国における身体障害者社会統合の最近の動き」(『職業安定広報』27巻22号 労働省職業安定局)
- \* 「職業リハビリテーション」(『総合リハビリテーション』29巻24号 医学書院)

1977 (昭和52) 年

▷著書

- \* 「身体障害者福祉の法律」(『社会福祉の法律入門』) 有斐閣

▷論文

- \* 「Disabled Individuals in Japanese Society」(『Rehabilitation World』Vol.10 No.10 Rehabilitation International U.S.A.) (アメリカ)
- \* 「社会リハビリテーション体系化の展望」(『障害者リハビリテーション'77』 日本障害者リハビリテーション協会)

▷調査研究報告書

- \* 「心身障害者雇用に関する海外事業調査報告」 身体障害者雇用促進協会
- \* 「職業リハビリテーション従事者の実態と課題」 <共著> 日本肢体不自由児協会

1978 (昭和53) 年

▷著書

- \* 『社会リハビリテーション』<編著> 誠信書房
- \* 『Facts of Vocational Rehabilitation in Japan』Japanese Society for Crippled Children
- \* 「ケースワークを支える日本的エトス－禅の人間観と現代西欧ケースワーク論との対話」(『日本のケースワーク』) 家政教育社
- \* 「オーストラリアの社会福祉」(『諸外国の社会福祉』) 国際社会福祉協議会日本国委員会
- \* 「職業リハビリテーション」 「社会リハビリテ

ション」(『リハビリテーション論』 全国社会福祉協議会社会福祉研究センター)

▷論文

- \* 「日本における職業リハビリテーション立法の発達と課題」(『世界のリハビリテーション法制の現状』 日本障害者リハビリテーション協会)
- \* 「国際連合アジア・太平洋社会福祉開発センターの活動をとらえてみたアジア社会福祉の課題」(『ソーシャルワーク研究』4巻3号 相川書房)
- \* 「総合障害者政策としての社会リハビリテーション」(『済生』594号 済生会)
- \* 「世界のリハビリテーションの動向と日本の参加への道」(『障害者リハビリテーション'78』リハビリテーション交流セミナー実行委員会)
- \* 「海外の大学の一事例としてのウィスコンシン大学から学ぶ」(『障害者リハビリテーション'78』リハビリテーション交流セミナー実行委員会)

▷翻訳

- \* 「占領期における社会福祉資料に関する報告書」社会福祉研究所

1979 (昭和54) 年

▷著書

- \* 「障害者福祉の現状と課題」(『新しい福祉ビジョンをめざして』 香川県)
- \* 「Improving Rehabilitation Service Systems through Re-evaluation of Administrative Policies in Japan」(『Proceeding:Sixth Pan Pacific Conference of Rehabilitation』) The Korean Society for Rehabilitation of the Disabled
- \* 「西ドイツ障害者法の沿革と現状」「イギリス障害者法の沿革と現状」(『海外障害者雇用事情 I』) 身体障害者雇用促進協会

▷論文

- \* 「基本理念と制作の動向—国際的動向と日本の

立場」(『建築雑誌』94巻1154号

日本建築学会)

- \* 「障害者(児)福祉論の形成過程とその教育」(『社会福祉教育年報』54年度版 日本社会事業学校連盟)
- \* 「職業リハビリテーションの世界的動向」(『第6回障害者職業リハビリテーション研究大会報告書』 日本障害者リハビリテーション協会)
- \* 「障害者福祉行政のプランニング」(『理学療法と作業療法』13巻7号 医学書院)
- \* 「障害者雇用制度・施策の現状と動向」(『月刊福祉』62巻8号 全国社会福祉協議会)
- \* 「国際障害者年に向けての世界の動向」(『総合リハビリテーション』17巻12号 医学書院)
- \* 「アメリカにおける身体障害者の社会参加」(『厚生』34巻12号 厚生問題研究会)

▷調査研究報告書

- \* 「授産施設を通してみた身体障害者施設処遇の変遷過程」 社会福祉研究所

▷翻訳

- \* 「アメリカにおけるリハビリテーションの歴史と哲学 上」<単訳>(『リハビリテーション研究』31号 日本障害者リハビリテーション研究所)

1980 (昭和55) 年

▷著書

- \* 「障害者雇用の理念」(『身障者雇用ハンドブック』) 身体障害者雇用促進協会

▷論文

- \* 「身体障害者処遇論の展開—わが国戦後の身体障害者福祉行政処遇研究の序説—」(『日本社会福祉学会関東部会紀要』創刊号 日本社会福祉学会関東部)
- \* 「オーストラリアの保育政策とその実践」(『社会福祉』22号 日本女子大学文学部社会福祉学

科)

- \* 「わが国障害者政策の克服課題」(『発達障害研究』1巻4号 日本文化科学社)
- \* 「地域ケアの展開－在宅ケアと施設ケアの統合をめざして－」(『身体障害者福祉研究会研究紀要』28号 身体障害者福祉研究会)
- \* 「相応の生活も保障されないわが国－在宅障害者の地域自立生活－」(『地域福祉』1号 日本生命済生会社会事業局)
- \* 「身体障害者の雇用問題－1980年代の展望－」(『職業研究』1号 雇用問題研究会)
- \* 「障害者福祉の国内的・国際的課題」(『リハビリテーション』220号 全国鉄身障害者協会)
- \* 「自立生活訓練を経て地域生活を築き始めたアメリカの障害者達」(『リハビリテーション研究』33号 日本障害者リハビリテーション協会)
- \* 「障害者の大学教育」(『リハビリテーション・ギャゼット』6号 リハビリテーション・ギャゼット編集委員会)
- \* 「第14回世界会議・国際障害者年特別部会をめぐる動き」(『リハビリテーション研究』34号 日本障害者リハビリテーション協会)
- \* 「国際障害者年に向けての世界的準備」(『理学療法と作業療法』14巻12号 医学書院)

▷調査研究報告書

- \* 「武蔵野市中心身障害者福祉行政調査」<共著> 武蔵野市
- \* 「保護雇用研究資料」<共著> ゼンコロ
- \* 「Report of the Study on Canadian Social Welfare Programs and Social Work Education」カナダ大使館
- \* 「身体障害者雇用促進をめぐる関係者の意識」身体障害者雇用促進協会 37号

1981(昭和56)年

▷著書

- \* 「参加と平等の福祉理念」(『障害者福祉を考える』) 朝日新聞厚生文化事業団
- \* 「障害者の生活問題と障害者福祉」(『日本の生活問題と社会福祉』) ドメス出版
- \* 『Disabled People in Japanese Community』<共編著> The Japan Council for the International Year of Disabled Persons
- \* 「障害者雇用の国際的動向と特質」(『障害者雇用ガイドブック 56年度版』) 身体障害者雇用促進協会

▷論文

- \* 「米国・リハビリテーション法における自立生活援助計画の出現－法制化の背景と計画の基本性格」(『リハビリテーション研究』36号 日本障害者リハビリテーション協会)
- \* 「障害者(児)福祉処遇の変換と従事者の資質」(『日本女子大学文学部紀要』30号)
- \* 「リハビリテーションにおける国際協力」(『職研』35号 職業研究所)
- \* 「職業リハビリテーションにおける職業訓練の原則と課題」(『開発と研修』8号 東京都総合技術開発研修所)
- \* 「80年代社会における障害者の“完全参加”と平等－国際障害者年にあたっての総点検－」(『社会福祉研究』28号 鉄道弘済会)
- \* 「障害者政策の国際動向」(『季刊教育法39号 総合労働研究所)
- \* 「障害者生活と社会リハビリテーションの基本的課題」(『障害者問題研究』27号 全国障害者問題研究)
- \* 「障害者対策の国際的動向」(『ジュリスト総合特集 障害者の人権と生活保障』) 有斐閣
- \* 「障害者(児)福祉研究の動向と課題」(『社会福祉学』22-2号 日本社会福祉学会)
- \* 「先進国における身体障害者対策」(『保健の科学』23巻2号 杏林書院)

- \* 「開拓的な欧米の障害者雇用対策」(『季刊電気労連』50号 日本電気労働組合)
- \* 「障害者が地域で暮らすために」(『青少年問題』8巻4号 青少年問題研究会)
- \* 「世界各国における国際障害者年に対するとり組」(『精神薄弱児研究』276号 全国特殊教育研究連盟)
- \* 「国際障害者年の思想と家庭教育」(『びっばら』207号 全国青少年教化協議会)
- \* 「国際障害者年と婦人の役割」(『婦人展望』311号 婦人会館出版部)
- \* 「世界のリハビリテーション動向から見たソーシャルワークの課題」(『RSW研究報告誌』4号 リハビリテーション・ソーシャルワーク研究会)

1982 (昭和57) 年

▷著書

- \* 『国際障害者福祉』 誠信書房
- \* 「心身障害者福祉の法と行財政」(『講座社会福祉 第6巻 社会福祉の法と行財政』) 有斐閣
- \* 「障害者雇用の理念」(『障害者雇用促進ガイドブック 57年度版』) 身体障害者雇用促進協会

▷論文

- \* 「老人社会生活とリハビリテーション」(『老年医学』22巻7号 ライフサイエンス社)
- \* 「国際障害者年の国連総会に見る世界の動向とわが国の課題」(『総合リハビリテーション』10巻8号 医学書院)
- \* 「社会リハビリテーションの理念と枠組み」(『総合リハビリテーション』10巻12号 医学書院)
- \* 「ポスト国際障害者年の国際社会情勢と社会的基本課題」(『リハビリテーション研究』37号 日本障害者リハビリテーション協会)

- \* 「専門技術体系と人材教育」(『総合リハビリテーション』10巻12号 医学書院)

1983 (昭和58) 年

▷著書

- \* 「オーストラリアの社会福祉」(『各国の社会福祉』) 全国社会福祉協議会
- \* 『社会のリハビリテーションの実践』<編著> 誠信書房
- \* 「リハビリテーション体系化の課題と方向性」(『講座社会福祉 第8巻 高齢化社会と社会福祉』) 有斐閣

▷論文

- \* 「医療とリハビリテーションにおけるソーシャルワーカーの役割と課題」(『医療社会事業』30号 日本赤十字社)
- \* 「国連“障害者に関する世界行動計画”と“障害者の十年”決議の経緯とわが国の対応」(『社会福祉』23号 日本女子大学文学部社会福祉学科)

- \* 「アジア太平洋地域会議を通して見た社会リハビリテーションの動向」(『リハビリテーション研究』43号 日本障害者リハビリテーション協会)

▷調査研究報告書

- \* 「重度心身障害者の生活構造の類型化と自立支援の条件の研究」<共著> 社会リハビリテーション研究会

1984 (昭和59) 年

▷論文

- \* 「重度心身障害者の生活構造の類型化と自立支持条件の研究」(『社会福祉教育年報』4号 (1983年度版) 日本社会事業学校連盟)
- \* 「日米女子大学教育の比較研究序説—わが国の女子高等教育の発達に及ぼした米国東部女子カ



- レッチ教育の影響を中心として」(『社会福祉』24号 日本女子大学文学部社会福祉学科)
- \* 「クオリティ・オブ・ライフ(QOL)と社会リハビリテーション」(『総合リハビリテーション』12巻4号 医学書院)
  - \* 「社会リハビリテーションの概念と実践基盤」(『理学療法と作業療法』18巻7号 医学書院)
  - \* 「障害者の大学教育」(『障害者の福祉』4巻10号 日本障害者リハビリテーション協会)
  - \* 「国際障害者年の成果」(『理学療法と作業療法』18巻5号 医学書院)

1985(昭和60)年

▷著書

- \* 「解説：心身障害者基本法」 「身体障害者福祉法」(『社会福祉小六法』) 誠信書房
- \* 「家庭福祉」「社会福祉実践の基本問題」「コミュニティワーク」「社会福祉実践の機関と専門職」(『最新保健講座6 社会保障と社会福祉』) <共編著> メヂカルフレンド社
- \* 「戦後障害者教育・福祉研究史」(『障害者教育史』) 川島書店
- \* 「Japan's New Model of Employment of Severely Disabled Persons through the "Third Sector" Companies」(『Employer Initiatives in the Employment or Re-Employment of People with Disabilities; View From Abroad (WRF Monograph 30.)』) World Rehabilitation Fund
- \* 『施設とリハビリテーション』 <共編著> 東京書籍

▽論文

- \* 「世界のソーシャルワーカー教育90年の軌跡」(『日本女子大学文学部紀要』34号)
- \* 「心身障害者援助活動の主体」(『心と社会』42号 日本精神衛生会)

- \* 「障害者の権利に関する宣言の10年」(『障害者の福祉』5巻12号 日本障害者リハビリテーション協会)

▷調査研究報告書

- \* 「第3セクター方式による重度障害者雇用の実態」 <共著> 身体障害者雇用促進協会
- \* 選書調査会報告書59年度「障害者問題その1 障害者福祉」 東京都立中央図書館
- \* 選書調査会報告書59年度「障害者問題その2 障害者教育」 東京都立中央図書館

▷翻訳

- \* 「アメリカにおけるリハビリテーションの歴史と哲学 下」 <単訳> (『リハビリテーション研究』32号 日本障害者リハビリテーション協会)

1986(昭和61)年

▷著書

- \* 「教育機関における実習担当教員のありかた」 「世界の施設実習の現状とわが国の発展課題」(『施設における実習教育』) 東京書籍
- \* 「国際社会での日本の障害者」(『講座 差別と人権5 心身障害者』) <共編著> 雄山閣
- \* 「世界の障害者雇用制度の動向とわが国の特質」(『社会福祉の日本の特質』) 川島書店
- \* 「職業リハビリテーション」「社会リハビリテーション」(『リハビリテーション論』) 全国社会福祉協議会

▷論文

- \* 「発展途上国における社会福祉教育の一考察」(『日本女子大学文学部紀要』35号)
  - \* 「心身障害者福祉への住民参加の課題」(『埼玉自治』433号 埼玉県自治研究会)
- ▷調査研究報告書
- \* 「国際障害者年以降における諸外国の障害者対策」 <共著> 総理府障害者対策推進本部

1987（昭和62）年

▷著書

- \* 「日・米女子教育の比較－我が国の女子高等教育の発達に及ぼした米国東部女子カレッジ教育の影響を中心として－」（『女子の高等教育』）  
日本女子大学女子教育研究所

- \* 「Evaluative Comments on the Congress」（『Peace and Social Work Education』）＜共編著＞ International Association of Schools of Social Work

▷論文

- \* 「世界の社会福祉教育の動向」（『社会福祉』27号 日本女子大学文学部社会福祉学科）
- \* 「社会リハビリテーションの発達史」（『総合リハビリテーション』15巻4号 医学書院）
- \* 「ILO女性障害者の社会統合調査」（『理学療法と作業療法』21巻9号 医学書院）
- \* 「リハビリテーションにおける国際協力」（『リハビリテーション研究』55号 日本障害者リハビリテーション協会）
- \* 「人生を豊かにするために－QOLを目指す療育に向けて－」（『療育の窓』63巻 全国心身障害児福祉財団）

▷調査研究報告書

- \* 「精神薄弱児職業自立のための支持条件に関する研究」＜共著＞ 身体障害者雇用促進協会 111号

1988（昭和63）年

▷著書

- \* 「心身障害者福祉の到達点」（『戦後社会福祉の到達点』）中央法規出版
- \* 「職業リハビリテーション」「社会リハビリテーション」（『リハビリテーション論 '88』）  
全国社会福祉協議会

▷論文

- \* 「施設から在宅福祉への思潮」（『愛護』36巻1号 日本精神薄弱者愛護協会）
- \* 「南米・ウルグアイにおける障害児の医療・教育と福祉」（『障害者の福祉』8巻1号 日本障害者リハビリテーション協会）
- \* 「ILO委託研究－女性障害者の社会統合に関する調査研究」（『障害者の福祉』8巻2号 日本障害者リハビリテーション協会）
- \* 「日本人の死生観における終末ケアの課題－日米のホスピスの比較を通じて」（『基督教社会福祉学研究』20号 日本基督教社会福祉学会）
- \* 「南米・児童福祉の横顔－ブラジルとウルグアイを中心に」（『世界の児童と母性』24号 資生堂社会福祉事業団）
- \* 「障害者にとって「生活の質」とは何か」（『障害者の福祉』8巻5号 日本障害者リハビリテーション協会）
- \* 「人間性回復の比較社会福祉思想－E・フロムと現代社会福祉論との交差点に関する一研究」（私学研修社会福祉提出論文、未提出）
- \* 「施設入所者のみる社会福祉士と施設生活に関する調査」（『障害者の福祉』8巻7号 日本障害者リハビリテーション協会）
- \* 「Japan National Report on the International Content of Social Work Curricula」（『24th International Congress of International Association of Schools of Social Work』）
- \* 「Strategies to Improve Socio-Vocational Intergration of Disabled Women in Japan」（『16th World Congress of Rehabilitation International, ABSTRACTS II』 Rehabilitation International）
- \* 「障害者が求めるもの－QOLとアメニティの権利をめぐる」（『社会福祉研究所』43号 鉄道弘済会）
- \* 「女性障害者の労働と生活：ILO委託研究の

結果をふまえて」(『理学療法と作業療法』22巻12号 医学書院)

\* 「Recent Development of Social Work Education in Japan – Establishment of the “Certified Social Workers and Certified Care Workers Law” and Its Impact on Social Work Education」(『Plenary Session 4 Full Paper』北京大学およびアジア太平洋社会事業学校連盟社会福祉教育会議)

\* 「アジア第三世界と平和」(『婦人と平和』53号 婦人国際平和自由連盟)

▷調査研究報告書

\* 「Analytic Report on Socio-Vocational Integration of the Disabled Women in Japan」ILO

1989 (平成元年) 年

▷著書

\* 「障害者福祉の基本理念」「相談援助の方法」(『社会福祉士養成講座3号 障害者福祉論』) <編著>中央法規出版

\* 「身体障害者福祉の基本問題」「身体障害者の定義と実態」「身体障害者対策の展開」(『身体障害者福祉論』) <編著>海声社

\* 『障害者福祉論』<編著>健帛社

\* 「西欧児童福祉思想の先駆者達—ルソー、ケイ、オーエンの児童観を中心として—」「南米児童福祉の苦闘—ブラジルとウルグアイを中心に—」(『児童福祉を拓く』) 海声社

▷論文

\* 「人間的絵生活の思想と社会福祉理論—フロム、コノブカ、ジャーメインの實踐思想の稜線」(『日本女子大学文学部紀要』38号)

\* 「草の根のリハビリテーションの實踐より日本政府援助プロジェクトを見る—中国リハビリテーション研究センターの土着化に期待する」(『障

害者の福祉』9巻4号日本障害者リハビリテーション協会)

\* 「Strategies to Improve Socio-Vocational Integration of Disabled Women in Japan – Views Obtained from the Research Proposed by the ILO」(『16th World Congress of Rehabilitation International Proceedings』Rehabilitation International Proceedings)

\* 「Japan's National Report on the International Content of Social Work Education」(『社会福祉教育年報』88年度版 日本社会事業学校連盟)

\* 「国際社会福祉教育に関するわが国社会福祉教育界の現状と問題」(『社会福祉教育年報』88年度版 日本社会事業学校連盟)

\* 「日本の福祉—その思想と構造」(『理学療法学会特集号』日本理学療法士学会)

\* 「Recent Development of Social Work Education in Japan for Expanding Human Service Needs – Response to Enhancement of the Certified Social Worker and Certified Care Worker Law –」(『社会福祉』No.28,29 合併号 日本女子大学文学部社会福祉学科)

\* 「ソーシャルワーク実践における生態学とは何か」(『社会福祉研究』46号 鉄道弘済会)

\* 「日本の福祉」(『理学療法学会』16巻6号日本理学療法士協会)

\* 「福祉の心、(1) 福祉とは何か」(『作業療法ジャーナル』23巻12号 医学書院)

\* 「福祉の心、(1) 福祉の心を育てる家庭と社会」(『作業療法ジャーナル』23巻12号 医学書院)

\* 「Rehabilitation Education in Japan」(『Rehabilitation Education』Vol.3 No.4 Pergamon Press)

▷調査研究報告書

\* 「障害者のノーマライゼーションの推進に向か

う社会福祉教育システムの研究—米、独、中、  
日を事例として— 富士記念財団

▷翻訳

- \* 『ソーシャルワークの根源』 誠信書房

1990 (平成2) 年

▷著書

- \* 「障害者福祉サービス」(『カナダの社会保障』  
東京大学出版会)
- \* 「新版 社会保障と社会福祉」<共編著>メジ  
カルフレンド社
- \* 「国際社会事業学校連盟の歴史と役割」(『社会  
福祉の専門教育』) 光生館
- \* 「現代福祉社会におけるエコロジー理論の展開—  
米国での開拓とわが国の課題—」(『家  
政学と人間環境』) ヒューマン・エコロジー研  
究所

- \* 「社会リハビリテーション」(『精神科MOOK』  
26号) 金原書店

▷論文

- \* 「福祉の心、(1) 福祉の心を育てる学校—大  
学での“当事者による実験教育を事例として—」  
(『作業療法ジャーナル』24巻2号 医学書院)
- \* 「障害者のノーマライゼーションの推進に向か  
う社会福祉教育システムの比較研究—ドイツ・  
中国・日本を事例として—」(『社会福祉教育年  
報 89年度版』10号 日本社会事業学校連盟)
- \* 「国連開発政策の許で進展する発展途上国の地  
域に根差した(コミュニティ・ベースド)リハ  
ビリテーション—その構造と展開—」(『社会福  
祉』30号 日本女子大学文学部社会福祉学科)
- \* 「International social work education for  
globalizing the minds of Japanese students」  
(『Proceedings of the First Annual Phi Delta  
Kappa Research Conference on global  
Education; Agenda for the 21st Century. (ed.

Narita & Scrorce)』Phi Delta Kappa, Japan)

- \* 「大都市の地域に根ざしたリハビリテーション」  
(『リハビリテーション研究』20巻1号日本障害  
者リハビリテーション協会)
- \* 「障害者福祉に活用されるアメリカのグルー  
プワーク理論の登場」(『リハビリテーション研究』  
20巻1号 日本障害者リハビリテーション協会)
- \* 「生きるということ」(『養育院』755号 東京  
都養育院管理部企画課)
- \* 「社会リハビリテーションの国際的動向」(『総  
合リハビリテーション』18巻1号 医学書院)
- \* 「Socio-Cultural Problems of Returning  
Japanese War Orphans from China as a  
Critical Concern of International Social Work  
Education」(『国際会議別冊情報』第25回国  
際社会事業学校連盟世界会議事務局)(ペルー)

1991 (平成3) 年

▷著書

- \* 「総論：国際連合“障害者の十年”における欧  
米諸国の障害者対策の動向」(『欧米における障害  
者対策の動向』) 日本障害者リハビリテーシ  
ョン協会

▷論文

- \* 「“解放の神学”と民衆の福祉—ペルー、草の  
根福祉へのG. グティエレスの影響—」(『人間  
社会学部紀要』 日本女子大学人間社会学部)
- \* 「中国帰国孤児問題への国際社会福祉教育から  
の接近」(『社会福祉』第31号 日本女子大学社  
会福祉学科)
- \* 「身体障害者の社会リハビリテーションにおけ  
る社会技術訓練の動向」(『作業療法ジャーナル』  
第25巻第5号 三輪書店)

1992 (平成4) 年

▷著書

\* 「障害者福祉の考え方」 「障害者をめぐる人々と社会資源の結び付き」 (『改訂 障害者福祉論』中央法規出版)

\* 「エコロジカル・ソーシャルワーク」  
〈共編著〉学苑社

\* 「外国人労働者への福祉の対応－国際比較の視点から－」 (『外国人労働者の福祉と人権』法律文化社)

\* 「クオリティ・オブ・ライフ(QOL)と社会リハビリテーション」 (『社会福祉』) 有斐閣

\* 「国際社会福祉確立の基盤－世界と国内に発現する国際福祉問題への対応のための基礎的考察－」 (『国際化時代の福祉課題と展望』) 一粒社

▷論文

\* 「ODAと福祉研修－アジア社会福祉研修社の現場研修・スーパービジョンの効果測定を通じて－」 (『社会福祉』第32号 日本女子大学社会福祉学科)

\* 「東西デタントの世界における社会リハビリテーションの視点と課題」 (『リハビリテーション研究』71号 日本障害者リハビリテーション)

\* 「世界の各圏域の到達点の評価と国連活動の方向性」 (『ジュリスト』1012号 有斐閣)

\* 「発展途上国における社会福祉教育の一考察」 (『教育学説資料収録論文一覧』第6号 論説資料保存会)

\* 「Women's Higher Education in Japan－Genesis, Present Situation and Future Tasks－」 (『日本女子大学紀要』人間社会学部)

\* 「想いは世界に・活動は地元で－地域に根差す国際社会福祉実践の諸モデルと国際社会福祉教育－」 (『社会福祉』第33号 日本女子大学社会福祉学科)

\* 「Recent Trends of International Social Work Education in Japan and Asia」 (『社会福祉教育年報』13集 (1992年度版) 日本社会事業学校連盟)

\* 「モジュール分析による社会生活機能(SFA)訓練・日本モデルの試作」 (『社会福祉教育年報』13集 (1992年度版) 日本社会事業学校連盟)

▷調査研究報告

\* 「1992年度社会福祉教育セミナー、第3分科会報告：社会福祉援助技術総論」 (『社会福祉教育年報 1991年度版』第13集 日本社会事業連盟)

その他論文、年鑑、辞典、書評など多数

1993 (平成5) 年

▷著書

\* 「異文化とわたりあう術」 (『福祉・複眼・福の神』) 学苑社

▷論文

\* 「ケニアの現実と求められる南北の社会リハビリテーション・パートナーシップ」 (『障害者の福祉』13巻1号 日本障害者リハビリテーション協会)

